



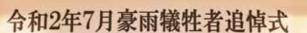






HITOYOSHI 2024.08









していく」と式辞。木村知事は「今

残された者の責務を果た

写真1・2_球磨川くだり株式会 社の社員らが黙とう。球磨川に花 を流した

写真4・5 _ 下青井町の慰霊祭に は、遺族や住民らが参列

写真6_追悼式では、市民を代表 し、当時市消防団の団長を務めて いた丸尾喜世人(きよと)さんが 追悼の言葉

写真7・9 __花を手向け、手を合 わせる遺族。参列した西村直美さ んは「4年経っても悲しみは変わ らない」と話した

令和2年7月豪雨から4年 犠牲者に鎮魂の祈りささげる

フォトリポート

後の県政において、令和2年7月豪組んでいく」と述べました。市役所和のの復旧・復興を最優先に取りて献花台を設け、市民からの献花をでけ付けました。 に住む18人が犠牲者を悼みました。青井町会館で慰霊祭が行われ、町内3人が亡くなった下青井町では下え続けていきたい」と話しました。 「土地区画整理事業も進む中で、安同町内会副会長の渕上憲男さんは フも増えてきたが、当時のことを伝雨災害を経験していない若いスタッ黙とう。船頭の藤山和彦さんは「豪 だり株式会社の社員らが球磨川に向 球磨川くだり発船場では、球磨川く 向けて、私たちも頑張っていきたい」 かって整列し、 に追悼のサイレンを鳴らしました。 心して暮らせるまちづくりの実現に サイレンに合わせて

このような悲劇に見舞われることがとうをささげ、松岡市長が「二度とと族ら約20人が参列。犠牲者に黙 日に市役所で犠牲者追悼式を執り行4年を迎えました。市では、6月30 2年7月豪雨災害から、7月4日で本市で21人の犠牲者を出した令和

広報ひとよし 8月号 4